



第1回保健講話 報告



平成28年6月24日（金）13:10~13:55 多目的ホール

<講話テーマ>

「手洗いについて」

<講師>

太田熱海病院 鈴木健一先生



今年度は「手洗いについて」というテーマで保健講話を開催しました。手には目には見えないバイ菌やウィルスがいっぱいいます。今回は病気の感染を防ぐための効果的な手洗いの方法について講話をいただきました。手洗い体験を行い、いつもの手洗いでは、十分に汚れが落ちていないことを実感しました。これからは今回教えていただいたことをもとに手洗いを行い、バイ菌やウィルスの感染をしっかりと予防していきたいです。



「鼻を手でこする」「鼻をかむ」「くしゃみ・咳を手で覆う」この時、ウィルスが手にたくさん付着します。



みんながよくかかる風邪の8~9割はウィルスが原因です。この風邪ウィルスはどうやって感染するのでしょうか？



意外なことに「手」を介した感染がいちばん多い感染パターンになるのです。

手洗い体験をしました！！



①専用のローションを手全体に刷り込みます。



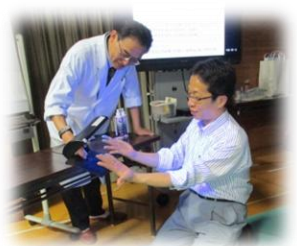
②手には汚れもなにも見えません。



③ブラックライトに当てると汚れがいっぱい！



④いつものように手洗いします。



④手洗い後もブラックライトを当てると汚れがまだ残っています。

子どもたちの感想から

手の中心しか洗っていないだったので、つめの先まで洗おうと思いました。

普通に洗っているつもりでも、あまり汚れが落ちていないことがわかりました。

つめの汚れはなかなか落ちないとわかりました。これから、気をつけて洗いたいです。

洗ったつもりでも汚れが残しやすい場所があることがわかってよかったです。指先やつめの部分に汚れが残しやすいので気をつけて洗おうと思いました。

